

「遠山椿吉記念 健康予防医療賞」、 4 月 1 日から公募開始

平成 23 年 6 月末日締切で、予防医療をテーマとした原著論文を募集

財団法人東京顕微鏡院

医療法人社団こころとからだの元氣プラザ

予防医療の先見的業績を表彰：

財団法人東京顕微鏡院と医療法人社団こころとからだの元氣プラザは、創業者で初代院長、医学博士遠山椿吉の予防医療の分野における業績を記念した遠山椿吉賞の平成 23 年度の募集を 4 月 1 日に開始します。公衆衛生の領域において、ひとびとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点で優れた業績をあげた個人または研究グループに対し、賞状、記念品及び副賞賞金 100 万円を贈呈するものです。

本賞の趣旨：

病を早期に発見し、発見したものを治療へつなげるという予防医療の基本目標について、地道に社会への貢献を追求する研究者を顕彰する賞と位置づけています。

「遠山椿吉記念 健康予防医療賞」募集について：

平成 23 年度は、将来の予防医療のテーマに先見的に着手したものを重点課題とします。

たとえば、「近い将来の健康診査の方法論を変えるようなもの」「健康診査の受診の機会を高め、医療経済面での効果が見られ、健康診査の精度向上に資するもの」「超高齢化社会構造における予防医療に関するもの」「こころの健康づくりおよび、これに関する科学者によるスピリチュアル分野における研究」「性差医療に関するもの」などです。

対 象：日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ

応募書類：所定の応募・推薦用紙、受賞候補者略歴、業績一覧、原著論文

応募期間：平成 23 年 4 月 1 日より 6 月 30 日（消印有効）

副 賞：賞金 100 万円

※ 原則として最近の業績を評価対象とします。業績とは、この 5 年間に関連学会で発表された原著論文とします。

※ 遠山椿吉賞選考委員会において論文を選考の上、1 件を採択し、10 月に発表します。

詳しくは、財団法人東京顕微鏡院ホームページ <http://www.kenko-kenbi.or.jp/> をご覧ください。

遠山椿吉とは：

遠山椿吉は、明治時代に、日本で初めて臨床検査の民間専門機関「東京顕微鏡院」を創立し、人々のいのちを守るため公衆衛生に力を尽くした細菌学者・医学博士。初代東京市衛生試験所所長を兼任し、東京に安全な水道水の供給を実現して伝染病予防に努め、予防医療を提唱し健康診査や衛生指導を実施しました。臨床検査、飲料水等の検査、顕微鏡技術者養成、顕微鏡検定、学会誌発行などを展開するとともに市民に対する啓発活動に努めました。

明治 41 年ロベルト・コッホ博士来日の折は、コッホ博士、北里柴三郎博士を招いて「生花の会」を催し、共にひと時を過ごしています。

報道機関からのお問い合わせ先：

財団法人東京顕微鏡院 公益事業室 担当 三橋（みつはし）

TEL:03-5210-6651 メール：mitsu@kenko-kenbi.or.jp

ホームページ： <http://www.kenko-kenbi.or.jp/> <http://www.genkiplaza.or.jp/>

